

「保育施設仮園舎（翠ヶ丘）の建設に関する説明会」議事録

日 時	平成30年3月29日（木）14:30～15:10	
場 所	翠ヶ丘集会所	
出席者	こども・健康部長 こども・健康部子育て推進課長 こども・健康部主幹新制度推進担当 こども・健康部主幹子育て施設担当	三井 幸裕 伊藤 浩一 和泉 みどり 長岡 良徳
司 会	こども・健康部子育て推進課施設整備係長	田中 孝之
事務局	こども・健康部子育て推進課	
参加者数	8人	

1 次第

- (1) 開会
- (2) 説明
- (3) 質疑応答
- (4) 閉会

2 配布資料

当日配布資料

3 議事録

(事務局長岡) ご説明させていただきます。保育所の大規模改修に関しましては、幼稚園の様に夏休み等がございませぬ。保育を継続しながら工事が実施できるのか検討をいたしました。安全面、費用面、工期の長さ等々多くの問題がございました。今回、後ほどご説明いたしますが、近隣に市の土地を確保することができましたので、大規模改修を行うことといたしました。

まず、今回の大規模改修の必要性でございますが、岩園保育所は昭和53年に建設され、現在建築後39年を経過しており、設備の老朽化が進んでおりますことから大規模な改修を行う必要が生じておりますが、子どもたちの保育を実施しながらの施工は非常に困難で、今回、子どもたちの安全性に配慮する必要と市有土地の有効活用も含めまして、近接地に仮園舎を建設し大規模改修期間におきましては、その仮園舎で保育を実施するものであります。

大規模改修の内容でございますが、屋上防水、壁・床・天井等の内外装工事、トイレ・調理室の乾式化、照明のLED化、冷暖房機器等の更新を行います。仮園舎の位置でございますが、地番は翠ヶ丘町19番、市営住宅跡地の現在空地となっている場所でございます。現在の岩園保育所からみますと阪急神戸線を渡った南西に位置しております。距離的には数十メートルの距離でございます。

仮園舎の概要でございますが、左が南、右が北となっております。南北に細長い土地でございますので、仮園舎についても南北に長い造りとなっております。北側から調理室、職員の休憩室、事務室、保健室、5歳児から2歳児までの保育室を配置しております。通所時は、仮園舎東側の市道125号線に面した北側から通所いただきます。入口を南側に出来ないかということも検討しましたが、入口を南側にいたしますと調理室を南側に設置することとなり、換気扇の排気ダクトを北側の線路方向まで伸ばすと相当長いダクトとなり、排気の性能が確保できないことから入口を北側とさせていただきます。

また、先日の岩園保育所保護者会のご意見の中で踏切待ちの車が止まることによって仮園舎の入口前を塞ぎ、自転車が保育所に入りにくくなり危険ではないかのご指摘をいただきました。その点については、何らかの方策を検討してまいります。

岩園保育所大規模改修のスケジュールについてご説明いたします。平成29年度の動きですが、3月22日に岩園保育所保護者の皆様への説明を行いました。近隣住民の皆様に対しての説明会は本日と4月1日を予定しております。次に平成30年度でございますが、7月～9月にかけて仮園舎を建設し、10月の運動会後に仮園舎に移り保育を実施いたします。翌年の2月末までを目途に岩園保育所の大規模改修を行い、その後、改修後の岩園保育所に仮園舎から引越しを行います。その他のスケジュール等につきましては後ほどご説明いたします。

続きまして、3番目の「朝日ヶ丘幼稚園敷地における幼保連携型認定こども園の整備について」説明させていただきます。朝日ヶ丘幼稚園敷地における幼保連携型認定こども園の整備でございます。翠ヶ丘の仮園舎の有効活用と関係がございますので、併せてご説明いたします。

現在、市におきましては、待機児童解消に向けた取組を進めており、山手圏域でも多くの待機児童が生じております。そこで、平成31年度末に閉園となる、朝日ヶ丘幼稚園敷地を活用して150人～200人規模の認定こども園の整備を計画しております。

岩園保育所改修用仮園舎を活用した小規模保育事業所等の運営についてでございます。待機児童の大半を占める0～2歳の低年齢のお子さんを受け入れるため、この前段で説明させていただいた岩園保育所大規模改修で建設した仮園舎を、岩園保育所大規模改修後、朝日ヶ丘幼稚園敷地における幼保連携型認定こども園の設置運営事業者による小規模保育事業所等の運営を行います。8月ごろから事業者の公募を行い、平成31年2月末を目途に事業者の決定、その後、事業者の説明会を開催します。岩園保育所の改修が終わった後の仮園舎について、小規模保育事業用に0、1歳児受け入れ用の改修工事が終わりますので、平成31年7月から小規模保育事業所の開園、可能であれば定員枠を拡大して翌32年4月に認可保育

所へ認可変更を行い、平成33年4月開園予定の朝日ヶ丘幼稚園敷地の認定こども園へ移転していただきます。これによって、喫緊の課題である低年齢児の待機児童解消の一助になると考えております。

なお、これらの条件については、募集要項に記載し、公募をしております。説明は以上です。

(事務局田中) それでは、質疑応答に移ります。

(市民) この工事が全部終わったその後の計画は決まっていますか。

(事務局長岡) 具体的に仮園舎を使ったあとにどういう活用をするのかは現在のところ決まっています。

(市民) 数か月前までマンション工事の駐車場に使われ、駐車場だけじゃなくてクレーン車も入ってきて結構な音がしていました。その前は空き地のまま放置していて前に掘みたいのがあったりして景観が良くありませんでした。保育所をするのには直接問題とは思っていませんが、また工事用に使われたら、音といい環境といい、全然違ってくるのであとの事についてある程度の計画を教えてくださいたいです。

(事務局長岡) 重ねた答えになりますが、本日のところ仮園舎で使用したあとについて当該の土地についてどう活用するのかということは決まっています。活用の方法が新たに決まりましたら、住民の皆様方にお知らせする必要がありますが、今の段階でどうするという事は決まっていないのでご了承をお願いします。

(市民) できるだけいい方向にしていきたい。みなさん散歩道で通られ、仲池とのつながりもあるので、できるだけ環境のいいものにすることを検討していきたいです。

(事務局長岡) ご意見いただき、ありがとうございます。

(市民) 市の方からお聞きしているのは、市営住宅は芦屋市全体で、南の高浜町の方に大規模なのができて順次移転し、大規模集約化をやっておられます。今回該当のところは、戸建ての市営住宅跡地ですが、芦屋市の基本方針は、市営住宅の跡地は売却して、高浜町での建設費用にすることです。山手幹線を東に行って西宮市大谷町との境の少し南に入ったところの翠ヶ丘町5番に、テラスハウス形式だったか市営住宅がありました。その西側は大きい3階建の市営住宅ができましたが、あの東側は売却になっています。そういう経過の中で、翠ヶ丘公園の北側にあるくの字型の市営住宅3階建ても高浜町の方にいずれ半年か一年で行くのですが、翠ヶ丘町としては市営住宅跡地を公園にしてほしいと思っています。でも、今日の市の担当者とは管轄が違います。市議会なり市の中で、今は該当地については当面はこのように使っていくことは仕方ないと思います。その後500坪の翠

ケ丘広場も山手幹線の整備によって無くなっています。翠ヶ丘町は芦屋市内でも3番目か4番目に広く、人口も2番目か3番目ですが、その中で公園が全然ありません。是非そういうものにしていただきたいと引き続き請願をしていきます。

もう一つ質問で、4ページのスケジュールについてですが、今年の7～9月で仮園舎を建設し、10月～来年の2月までを仮園舎で岩園保育所にいらっしゃる方の保育に使われるとのことですが、園児さんは何人ですか。
(事務局長岡) 岩園保育所の定員は60名。実際にはもう少し入り、最大でも66名です。

(市民) 来年4～6月に改修して小規模保育事業所に適合するような改修工事を3か月間に渡って行うとのことですが、その小規模保育事業所の定員は何人ですか。

(事務局長岡) 19名です。

(市民) 66人が19人になるのですね。その19人は朝日ヶ丘町から来られるのですか。

(事務局長岡) 将来的に朝日ヶ丘町の認定こども園に移られることを見越して保護者の方が選択することになります。

(市民) 19人というのはこの時点で朝日ヶ丘町にいらっしゃる方が来るわけではないのですか。

(事務局長岡) 新規で入られる方です。

(市民) 7月からでいいのですか。

(事務局長岡) 4月入園が一番望ましいのですが、事業者の募集や工事の関係もあるので今回は7月からの入所です。

(市民) 6月のところに朝日ヶ丘町から矢印が引っ張ってあるのはどういう意味ですか。

(事務局長岡) 事業者の説明会を地域の皆様方に行いまして、小規模保育事業所を開設するという意味の矢印です。

(事務局和泉) 補足説明いたします。まだ保育施設という形で建設されているわけではございません。平成31年5～6月事業者説明会というのは今後平成33年度以降に開園する認定こども園の設置運営事業者を決定した後の説明会になります。まだ子どもさんは受け入れていない状態になりまして、子どもさんが移動する矢印ではなくその事業者が小規模保育事業所を運営しますという意味の矢印です。

(市民) わかりました。小規模保育事業所を平成32年3月まで運営し、認可変更をするのですね。認可保育所になったら定員は何人ですか。

(事務局長岡) まだ定員は決めていません。小規模保育事業所は0～2歳児までの子どもを受け入れる施設です。2歳児の方が3歳児になった時にどこに行くのかということがあり、そのまま小規模保育事業所で受け入れるのは難しいため、認可変更して3歳児以上の受け入れができる認可保育所に変更しま

す。人数はまだ決まっています。

(市民) 認可保育所は3～5歳児ですね。

(事務局長岡) 0～5歳児まで受け入れすることができます。

(市民) 平成31年度に入った19人がそのまま持ち上がりでずっといることもあるわけですね。

(事務局長岡) 基本的には持ち上がっていただくのを予定していますので、認可変更ということです。

(市民) 分かりました。もう一点。長岡課長からのご説明にもありましたように3ページのレイアウトについて、保護者説明会のところでもやはり意見が出たという説明でした。車は左側通行ですから北側入口だと北側の踏切が閉まった時に車が並びます。特に前にです。逆に入口を南にすると搬入があるから調理室も南にしないといけないということですね。それは分かるのですが、両方をクリアする方法はないのか検討してもらいたいです。あまり南にしすぎても、東から来る坂道に3～5歳児室が重なりますので、難しいと思いますが、搬出入のトラックも保護者の送迎も含めて、レイアウト的にここにするのは危険だと思います。

(市民) 図面だと西側と南側は一般住宅に面していますが、園の工事で防音という意味で何か特段配慮されるご予定でしょうか。

(事務局長岡) フェンスを建てて敷地の境界とさせていただきます。植栽は考えていますが、新たに壁のようなものを建てるとかは考えていません。

(市民) 保育園だとスピーカーで音楽を鳴らして園庭でお遊戯とかされますが、そういう設備も作るのですか。

(事務局長岡) 園庭でどれぐらいの活動ができるかということと実際園庭が狭いので、運動などについては仲ノ池、岩園公園、翠ヶ丘公園、外に出て運動していただくという保育の工夫を考えています。今のところ園庭でスピーカーを使ってみるなどで何かをするというのは物理的に難しいのかもしれない。

(市民) 運動会はこの期間は、なしですか。

(事務局長岡) 運動会が終わった後に引越し予定なので運動会は今の岩園保育所で実施予定です。

(市民) 分かりました。

(市民) 北側が入口ということですが、駐車場は何台ぐらい停められるのですか。

(事務局長岡) 基本的に駐車場はございません。

(市民) 車で来られる方はどこに停めるのでしょうか。

(事務局長岡) 現在の岩園保育所の運用の中でも近隣につきましては駐車禁止になっていますので、できるだけ自転車、徒歩、そういった通園の方法をお願いしています。お車でお越しであれば、近隣のコインパーキングに停めていただくようお願いをしております。仮園舎でも同じように呼びかけていき

ます。

(市民) ただ、雨の日は大変なので車での送迎という状態は続いています。駐輪場にしても交通量が多いところなので、これ以上自転車や車が増えると、更に交通渋滞を引き起こすことを危惧しています。特に朝と夕方についてです。北からも南からも来ますし、自転車も相当多いので事故の危険性もあります。今見ても自転車で送迎されて、後ろに小さい子を乗せて降ろしている間に2～3歳の子がパーっと走っていく状況をよく見ます。他に入口を考えることはできないのですか。

(事務局長岡) ご心配はごもっともです。保護者説明会でもそういった意見頂いておりますので、工夫をして考えていきたいと思えます。今日の時点で入口を変えとかはできませんが、十分頂いたご意見を工夫してまいります。ありがとうございます。

(市民) 工事の途中もそうですが建った後も夜間など空き家になるので街灯を増やしていただければ安全だと思います。

(事務局長岡) 街灯ができるかどうかは分かりませんが、例えば保育所内の照明をつけるなど運用の時に考慮していきたいと思えます。

(市民) スケジュールのところについてですが、平成30年8月事業者公募ということは朝日ヶ丘の事業者と小規模保育事業所、認可保育所の事業者をここで決めてしまうということですね。岩園保育所は2～5歳児で、小規模保育事業所は0～2歳児ですよね。途中で認可保育所に切り替わって折角、仮園舎というものの立派な保育所があるのにそれをわざわざ改修して小規模保育事業所として19人で開園します。一方で、認可保育所であれば0～5歳児を受け入れられますよね。なぜ認可保育所から始まらないのですか。

(事務局長和泉) 実際のスケジュールをご覧くださいますと事業者の決定が平成31年2月末、小規模の開園が平成31年7月ということで時間的な余裕がないことと、認可保育所の開設は県が認可するので非常に時間もかかり準備も大変です。少しでも早く今一番待機の多い0～2歳児のお子さんを受入れる施設を開設できないかと、市の内部で検討した結果このような形になりました。

(市民) 分かりました。改修工事は平成31年4～6月まで3か月間行いますが、この工事はどの程度ですか。

(事務局長岡) 岩園保育所は2～5歳児まで、小規模保育事業所が0歳児から受入れということで0～1歳児さんのための設備を作る必要があります。具体的には調乳室などの設備改修が少しあるのでちょっと長めにとって3か月の間に整備します。

(市民) 大規模な工事ではないのですね。

(事務局長岡) 現在の想定ではそう大きな工事ではありません。

(市民) 東山町にあるあゆみ保育園と、朝日ヶ丘町にある民家を利用したHAN A保育園で0～2歳児を受け入れられます。どこの保育所へ行かないといけないという決まりはないため、全市から来ても良いのですが、遠いところから来る可能性があれば車で来る人も増えるでしょうし、例えば朝日ヶ丘町や岩園町というように、待機児童の多い町名はわかりますか。それとも全然違うところから車で来る可能性があるのか分かりますか。

(事務局長岡) 具体的に何町に何名いらっしゃるとなると個人が特定される恐れがあるのでもう少し大きな範囲で申し上げますと国道2号線以北の東側、岩園町・親王塚町・翠ヶ丘町・六麓荘町・楠町というくくりでございますと3月1日現在で0～2歳児が39名、3～5歳児が3名の合計42名が待機されているという状況です。

(市民) 先ほど質問があった防音のフェンスについてですが、設置される予定のフェンスは、フェンスと言ってもネットフェンスですよ。壁ではないですよ。音には関係ないですよ。

(事務局長岡) ネットフェンスを想定しております。

(市民) それでは防音にはならないですね。次に、車の問題ですが、北側になったとしてもどこになったとしても登園・降園時は専門のガードマンを設置してほしいです。地元において事故が起こることは望んでいません。近隣の幼稚園では、車が多いのですが登園のとき山手幹線にガードマンを立たせています。あとセキュリティの問題についてです。工事中もセコムが入られるのではないですか。工事現場のアラームや、普通の民家を建てる時でもしています。

(事務局長岡) 工事中ということですか。

(市民) 工事をしている時です。補足しますと、仮園舎建設予定地にあった市営住宅が南から順に立ち退かれ、空き家になった時に2回ボヤがあって、ご近所の方が消防に通報して大事には至らなかったのですが、晩になると真っ暗になって4年の間に2回火付けがありました。それからフェンスを建ててくれたのですが、そういうこともあったので是非工事中もきっちりしてほしいと思います。あともう一点、工事の資材置き場は、今の岩園保育所の東側の稲荷山線用地のところですか。

(事務局長岡) 本園舎の大規模改修の際は稲荷山線用地のフェンスで囲まれているところに資材や工事車両を集める予定です。

(市民) この仮園舎の分は直接現場に積んでいくということですか。

(事務局長岡) 必要があれば、岩園保育所横のフェンスで囲まれている土地も使用します。今のところ仮園舎の敷地の中で収まるのではないかと想定していますが、実際に業者が決まって工事の打ち合わせをしたときに収まらないということであれば当然活用していく予定です。

(市民) 搬入は仕方ないとしても工事の方が来られる車両は、今の保育所の東側

に停められるということで、当然路駐はありませんね。

(事務局長岡) 路駐は決して行わないよう指導いたします。

(市民) 仮園舎は鉄骨とか何で造られるのですか。

(事務局長岡) 軽量鉄骨です。

(市民) 当然1階ですね。

(事務局長岡) 平屋です。

(市民) 分かりました。

(事務局田中) 本日は貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。